



館報 @めいりん

越前大野城のふもと

将来像:人がつながり地域がつながる住み続けたい結のまち
教育理念:明倫の心を重んじ育てよう大野人

〒912-0087 福井県大野市城町9番1号
学びの里「めいりん」内
TEL:0779-66-2828 FAX:0779-66-2885
E-mail:ono-k@city.fukui-ono.lg.jp



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

大野公民館
ホームページ



市公式LINE



LINEで大野市と
友達になろう!
普段は便利に、
いざという時は頼
りに!

公民館リレー講座「大野を学ぼう」
蔵巡りウオーク 参加者募集

大野地区にある醤油や味噌、酒の蔵を巡り、
大野の食文化を学びます。

日時 11月26日(土)
午前9時30分~午前11時30分
集合場所 学びの里「めいりん」
行き先 山元醤油味噌醸造元、宇野酒造場
定員 10人(申し込み多数の場合は抽選)
受講料 無料
申込み 11月1日(火)
~14日(月)
その他 宇野酒造場の入場料
として300円必要
です。



新庄の大野地区への異動・地区忠魂碑
奉賛会解散説明会を開催します

新庄の小山地区から大野地区への異動や大野地
区忠魂碑奉賛会の解散について説明会を開催しま
す。申込不要です。

日時 11月15日(火)
午後6時30分~午後7時30分
場所 学びの里「めいりん」1階 講堂
主催 大野地区区長会・大野地区忠魂碑奉賛会

大野地区子ども会育成会連絡協議会
越前カンタケ植菌教室 参加者募集

おうちで育てて食べよう!

日時 11月27日(日)
午前10時~午前11時30分
場所 学びの里「めいりん」1階 ランチルーム
講師 福井県奥越農林総合事務所職員ほか
対象者 大野地区内の小学生20組(祖父母可)
参加料 1菌500円(当日集金)
持ち物 新聞紙、軍手、園芸用スコップ
締切 11月17日(木)

大野長生会
ノルディックウオーク大会 参加者募集

日時 11月12日(土)
午前7時30分~午前9時(雨天中止)
集合場所 奥越ふれあい公園メインスタンド前
持ち物 飲み物、タオル
参加料 ウォーキングクラブ会員は無料
非会員は500円(当日集金)
申込 会員は申込不要
非会員は大野公民館へ申し込む。
その他 ポールレンタル可
(300円)
マスク着用・手洗い等
コロナウイルス感染予
防対策の厳守をお願い
します。



マイナポイント取得のための
マイナンバーカードの申請期限が
延長になりました

マイナポイント第2弾の対象となるには12月
末までにマイナンバーカードの申請が必要です。
この機会にマイナンバーカードの申請をお願い
します。

ポイント獲得のための
カード申請期限は、
12月末だよ!



連絡先 市市民生活・統計課
☎66-1111(内線1205~1207)

第1地区南っこイルミネーション点灯

有終南小で12月25日まで

10月1日に有終南小学校で南っこイルミネーション点灯式が行われました。

第1地区区長会の「結の故郷地域が輝く交付金事業」の取り組みで本年度6回目となり、点灯式には学校関係者や住民が集まりました。



10カウント後にイルミネーションを点灯し、学校周辺をLEDでライトアップしました。

ライトアップは12月25日まで行われています。ぜひご覧ください。


こもればび句会
エンディングノート閉じては開く夜長人 佐々木正佑
いとど鳴くガスコンロつけちちちちち 土橋弘美
白菊や胸に動かぬ人のいて 新田景子
フェイスシールド水族館めくこの秋も 石田秋桜
秋の風^{きし}軋む裏戸をノックする 河口花苺
満月は恥ずかしいのか見え隠れ 佐々木三郎

まちづくり推進協議会 羽咋市へ視察研修

10月4日に石川県羽咋市へ視察研修を行い14人の役員や地区民などが参加しました。

羽咋市役所で総務部地域振興室見附係長と地域づくり団体「五色の絵の具」定免代表を講師に羽咋市の地域づくりの取り組みを聞きました。

見附係長は「人口減少にどう取り組むか、アンケートの見える化で課題を感じてもらい住民が自主的に動けるようにアドバイスしていきたい」と、定免代表は「人が大事、高校生のうちに羽咋市の魅力を感じてもらおう、羽咋市で働きたいと思う仕事や人間関係も大事である」などと事例を交えて説明し、大野地区のまちづくりを進めていく上で羽咋市の取り組みはとても参考になりました。

国旗を掲げましょう 
11月3日(木)文化の日
11月23日(水)勤労感謝の日



大野公民館 高齢者教室 「ACP(人生会議)ってなあに？」開催

10月6日に結とびあ305・306号室で市健康長寿課包括支援グループの在宅医療コーディネーターを講師に招き、高齢者教室を「ACP(人生会議)ってなあに？」と題して開催し、23人の大野地区の高齢者が参加しました。

「ACP(人生会議)」とは、もしものときのために本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、家族等と意思を共有する取り組みです。



最初に余命半年を想定した時、何が必要なのかを考える「もしバナゲーム」を行い、次に自分の意思を整理する「私の引継ぎ書」の作成を行いました。

家族や友人、医療関係者と元気の時から話し合うこと、何でも相談できるかかりつけ医を持つことが大事と講師からアドバイスがありました。

参加者からは「人の意見が聞けて良かった」「今後について考えさせられる」「断捨離をしたい」などの感想があり、終活について考える良い機会となりました。